

「令和7年度 荒神山自然の家 評価結果」

所管課 生涯学習課

(1)総合評価は、評価基準の各項目ごとに委員会でA、B、Cの3段階で評価した。

(2)評価は、以下の3段階とする。

A…優れている

B…概ね適正に行われている

C…改善を要する

(3)評価結果

No.	基 準 項 目	評 価 項 目		細 目		総合評価
1	市民の平等な利用の確保	1	施設の設置目的および市の管理運営方針	1	施設の設置目的を理解して運営できたか	A
				2	市が示した管理運営方針と実施内容が合致するか	A
				3	指定管理者（団体）の運営や経営のモラルは適切か	A
		2	平等な利用を図るための具体的な手法およびその効果	1	事業等の実施内容に偏りがなかったか	A
				2	生活弱者や社会的弱者への配慮がなされていたか	A
2	施設の効用の最大限の発揮	1	利用者の増加を図るための具体的な手法およびその効果	1	年間の広報の内容は適切か	A
				2	利用拡大の取組内容は適切か。また、利用増に繋がっているか	B
				3	地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られていたか	A
		2	サービスの向上を図るための具体的な手法およびその効果	1	サービス向上のための取組内容（アンケート調査や苦情処理の対応など）は適切か	A
				2	指定管理者が事業計画書に記載した項目に対する実施内容は適切か	A
				3	自主事業は、市の意図している内容となっていたか	A
				4	全体的に施設の機能を活用した内容になっていたか	A
		3	施設の維持管理内容、適格性および改善の可能性	1	市の意図している内容が事業実施されていたか	A
				2	施設管理、安全管理は適切な内容であったか（災害対策も含む）	A
				3	維持管理は効率的な内容になっていたか	A
				4	食堂の運営は適切になされているか（衛生面、利便性）	B
3	施設の管理費用の縮減	1	施設の管理	1	管理業務経費の縮減についての取組がなされているか	A
4	管理を安定して行うことができる経営規模や経営能力	1	安定的な管理運営が可能となる人的能力	1	職員の体制は十分な内容となっているか	A
				2	職員の雇用、その確保の方策は適切か	A
				3	職員の指導・育成や研修体制は適切か	A
				4	活動支援スタッフの募集および育成がなされているか	B
		2	安定的な管理運営が可能となる経済的基盤	1	団体の財務状況は良好か	A
5	適切な事業の取組	1	荒神山自然の家の特色を生かした取組	1	自主事業は、利用者ニーズを満たす内容であったか	A
				2	青少年健全育成（やまのこ事業等）に関する取組の内容は適切であったか	A
				3	市民や事業者と協働で取り組む事業内容は適切であったか	A
評価の理由、コメント		A…22 B…3 C…0				
施設の廃止に伴い最後の評価となるが、コロナ禍等の困難な時期を乗り越え、50年以上の歴史をもつ施設において、自然を活かした原風景を守りながら、最後まで責任を持って業務を完遂されたことは評価に値し、深く敬意を表する。長年にわたる多大な貢献は高く評価できる。今後は、これまでの施設運営で培われたノウハウを、隣接する子どもセンターや社会に活かし、貢献されることを期待する。						